



JA尾道総合病院 広報誌

かけはし

Information magazine of JA Onomichi General Hospital

vol. 119

2026.7
SUMMER



CONTENTS

- 2 病院長挨拶／新任医師紹介
- 3 4 新任医師紹介
- 5 看護のチカラ
- 6 7 診療科紹介(病理診断科)
- 8 すい臓がん 肝臓がん教室

発行所



尾道総合病院
JA ONOMICHI GENERAL HOSPITAL



〒722-8508 広島県尾道市平原1丁目10番23号
TEL.0848-22-8111 FAX.0848-23-3214

発行日 / 令和8年7月〇日



WEBSITE

病院長就任ご挨拶

JA尾道総合病院 病院長 宮田 義浩



2026年4月よりJA尾道総合病院、病院長を拝命いたしました。私は1989年(平成元年)広島大学医学部を卒業し、外科を専攻しています。専門は呼吸器外科で、肺癌、胸膜中皮腫を中心に広島大学病院で診療、教育、研究に従事してまいりました。尾道に勤務するのは初めてですが、歴史ある美しい街、特に病院の私の部屋から見える空と尾道水道の青さに日々魅了されています。

当院は1957年の開設以来、尾道市を中心とした尾三医療圏のがん医療、救急医療、産科小児医療、災害医療などの拠点病院として歩みを重ねてまいりました。この風光明媚な尾道市周辺でも、若い人を中心とした人口流出による人口減少の加速と、高齢化の進行が大きな課題となっています。医療、子育て環境の充実こそがこの人口減少に歯止めをかける鍵ですが、地域周産期母子医療センターを有する当院が果たすべき役割はますます重要性を増しています。今後とも他の医療機関や行政と力を合わせ、地域の未来を見据えた医療提供に邁進いたします。そして「何かあれば農協病院、JA尾道総合病院」と、地域の皆さまから安心と信頼を寄せていただける病院を目指し、職員一丸となって全力を尽くしてまいります。

今後とも、変わらぬご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

よろしく
お願いします!

新任医師のご紹介



消化器内科

なえ しろ のり あき

苗代 典昭



消化器内科全般、中でも肝臓内科を専門として研鑽を積んでまいりました。片村医師の後任です。尾道の医療に貢献できるよう頑張っております。

消化器内科

た なか よし ひろ

田中 義大



4月より赴任しました田中義大と申します。尾道の医療に貢献できるよう精一杯頑張りますので宜しくお願い致します。

呼吸器内科

あき た しん

秋田 慎



4月より赴任しました呼吸器内科の秋田と申します。尾道の医療に貢献できるよう精進しますのでよろしくお願い致します。

呼吸器内科

とり い ひろ あき

鳥井 宏彰



4月より赴任しました鳥井宏彰と申します。尾道の呼吸器診療に貢献できるよう頑張ります。

呼吸器内科

しげ もと り こ

重本 理子



広島赤十字・原爆病院より参りました重本理子と申します。尾道の医療に貢献できるよう精進いたします。よろしくお願い致します。

腎臓内科

ゆ ば よし お

弓場 義雄



4月より赴任しました弓場義雄と申します。尾三地区の医療に貢献できるよう精一杯頑張りますのでよろしくお願い致します。

循環器内科

はやし けん た ろう

林 健太郎



4月より赴任しました林健太郎と申します。尾道の医療に微力ながら貢献できますように精一杯頑張ります。よろしくお願い申し上げます。

小児科

むら かみ み き こ

村上 未希子



県立広島病院より参りました。6年ぶりの尾道での勤務となります。尾道の小児医療に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願い致します。

小児科

やま ぐち たつ や

山口 達也



4月より赴任いたしました山口達也と申します。尾道の小児医療に少しでも貢献できるように日々精進いたします。よろしくお願いいたします。

外科

べっ き とも あき

別木 智昭



4月から外科に赴任いたしました別木智昭と申します。尾道の医療に貢献できるよう精進いたしますので、よろしくお願いいたします。

外科

ふく だ たか ひろ

福田 崇博



4月より赴任致しました福田崇博と申します。尾三地区の医療に貢献できるよう日々精進致します。よろしくお願いいたします。

乳腺外科

て しま ま り の

手嶋 真里乃



4月から乳腺外科に赴任いたしました手嶋真里乃と申します。尾道の医療に貢献できるよう、日々努力します。よろしくお願いいたします。

整形外科

とも たき ゆう や

友滝 裕也



公立みつぎ総合病院から参りました。尾道の地で医療に従事できることを光栄に思います。運動器を通じて地域に寄り添った医療を行って参ります。

脳神経外科

いけ だ こう き

池田 昂輝



市立三次中央病院から参りました池田昂輝と申します。尾三地区の脳疾患診療に貢献できるよう日々精進して参ります。よろしくお願い致します。

脳神経外科

どう わき りょう すけ

堂脇 良介



松山赤十字病院より参りました堂脇良介と申します。尾道の医療に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願い致します。

皮膚科

ふく もと え み な

福本 絵美菜



4月より皮膚科に赴任いたしました福本絵美菜と申します。尾道の医療に貢献できるように日々精進致します。よろしくお願い申し上げます。

泌尿器科

い かい たく み

井開 拓実



呉医療センターより参りました。尾三地区の泌尿器科領域の医療に貢献できるよう精進いたします。

泌尿器科

むら さわ とも よ

村澤 朋世



4月より泌尿器科に赴任いたしました村澤朋世と申します。皆様のお力になれるよう日々精進いたしますので宜しくお願いいたします。

産婦人科

やま だ さ や か

山田 紗弥花



呉医療センターより参りました山田紗弥花と申します。尾三地区の医療に貢献できるよう、精一杯努めてまいります。

麻酔科

まえ ゆう へい

前 雄平



4月より赴任いたしました。安全な麻酔管理に努め、皆さまに信頼される医療をできればと思います。よろしくお願いいたします。

麻酔科

むら お ゆ き
村尾 祐紀

尾道の医療に貢献できるよう精一杯頑張ります。よろしくお願いいたします。



麻酔科

かや はら み ほ
栢原 未帆

広島大学病院より異動してまいりました。尾道の医療に貢献できるよう頑張ります。よろしくお願いいたします。



救急科

あ べ くら あかり
安部倉 萌

中国労災病院より参りました。尾三地区の救急医療に貢献できるよう日々精進して参ります。よろしくお願いいたします。



臨床研修医

あら かき ち ひろ
新垣 千尋

佐賀大学出身の新垣千尋と申します。尾三地区の中核病院であるこの病院で、初期研修できることをうれしく思います。よろしくお願いいたします。



臨床研修医

ふじ た な お こ
藤田 菜穂子

福岡県出身、広島大学を卒業しました藤田菜穂子と申します。尾道で研修できることを大変嬉しく思います。精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



臨床研修医

お の ひろ き
小野 紘貴

初期研修医の小野紘貴と申します。東広島市に生まれ、その後も小中高大と広島一筋、生粋の広島県民です。尾道の医療に精一杯貢献してまいります！



臨床研修医

き むら もと き
木村 元紀

呉市出身、川崎医科大学卒の木村元紀と申します。尾道の海が広島で一番好きです。休日はランニングや旅行を楽しんでいます。よろしくお願いいたします。



臨床研修医

やす はら ゆう や
安原 裕也

初期研修医1年目の安原裕也と申します。故郷である広島県の医療に少しでも貢献できるように日々努力して参ります。どうぞよろしくお願いいたします。



臨床研修医

まる かわ まさ き
丸川 正貴

宮崎大学出身の丸川正貴と申します。尾道で初期研修できることを大変嬉しく思います。精一杯頑張りますのでよろしくお願いいたします。



臨床研修医

さかき ばら ま ゆ み
榊原 真由美

川崎医科大学を卒業しました榊原真由美と申します。至らぬ点多いと思いますが、精一杯努力してまいりますので指導よろしくお願いいたします。



臨床研修医

か しま あ り さ
加島 愛理沙

この春より研修医として働かせていただくことになりました。信頼される医師を目指して日々研鑽を重ねてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。



臨床研修医

かた おか ひろ ゆき
片岡 広行

岩手医科大学出身の片岡広行と申します。至らぬ点多いとは思いますが、精一杯努力してまいりますので、どうぞよろしくお願いいたします。



看護のチカラ

重症患者さんを支える 認定看護師の役割



クリティカルケア認定看護師
重田 知洋



集中ケア認定看護師
高月 利枝



伊藤 弥史

クリティカルケア認定看護師・集中ケア認定看護師は、生命の危機的状態にある急性期患者（ICUやERなどへ入室された重症患者）さんに対し、生命の危機的状況からの回避や早期回復を目的とした援助を行います。近年医療技術の進歩により救命率が上がる一方で、患者さんの高齢化や病態の重症化も進んでおり、複雑化する治療過程において、患者さんご家族の安全・安心・安楽を考えた看護の提供を目指しています。



当院では認定看護師のチカラを活かす為に、人工呼吸器を装着した患者さんに対して呼吸サポートチーム（RST:Respiratory Support Team）が対応しています。また、入院患者さんの急な状態悪化を未然に防ぎ、早期介入を行う院内迅速対応チーム（RRT:Rapid Response Team）も対応しており、認定看護師がチームメンバーとして活動しています。

RSTとは主に人工呼吸器装着患者の早期離脱を目的として、医師・歯科医師、看護師、管理栄養士、歯科衛生

士、薬剤師、理学療法士、臨床工学技士などがそれぞれの専門知識を持ち寄り、安全で効果的な人工呼吸管理が出来るようサポートするチームのことで、回診では人工呼吸器管理のみならず、主疾患の治療状況や栄養状態の確認など、患者さんの全身状態を評価・共有し、人工呼吸器離脱に向けた提案が出来るよう努めています。RSTが介入することにより、少しでも多くの患者さんがスムーズに回復できるよう、今後も連携を深めていきたいと思っています。



おわりに

日々看護を行う中で、患者さんの望む治療とご家族の望む治療が相反する時があります。もしもの時に慌てない為にも、あなたが望む医療やケアについて、ご家族や医療・ケアチーム等と話し合い、患者さんご家族が満足のいく治療を受けられる事が大切ではないかと思っています。これからの人生を自分らしく暮らしていく為に、あなたの希望や思いを周囲の信頼できる人と共有してみてもいいのではないでしょうか。



ひとこと

広島大学大学院 医歯薬保健学研究科 分子病理学の教室から、勝矢脩嵩（かつやなるたか）先生が非常勤病理医として、週に一回来院されることになりました。

写真の紹介

右から 米原修治主任部長
勝矢脩嵩医師

●科の紹介

病理診断科が日常行っている業務には、細胞病理、外科病理、病理解剖があります。

細胞病理には子宮頸部や尿の剥離細胞診、甲状腺や乳腺、超音波内視鏡を利用した膵臓腫瘍や縦隔リンパ節の穿刺吸引細胞診などがあります。ガラスに塗抹した細胞を固定し、パパンニコウ染色を行い、顕微鏡で観察します。細胞検査士が指摘した異常細胞を病理医が判定し、細胞診断を行います。

外科病理には生検組織診断、術中迅速組織診断、手術摘出臓器の診断、がんゲノムがあります。生体から切り取られた組織や臓器は、すぐに自己融解を始めるため、速やかにホルマリン溶液で固定し、パラフィンに埋めて、5ミクロンの厚さに薄切して、ヘマトキシリン・エオジン染色標本を作製し、顕微鏡で観察します。術中迅速組織診断では、手術中に所属リンパ節や摘出臓器の切除断端の癌細胞の有無を判定して、切除範囲の決定に関与します。短時間で標本を作製する必要があるため、組織をクライオスタットで凍らせて、薄切して、固定し、染色を行います。通常10分程度で標本ができあがります。癌細胞の有無を手術中の外科医に知らせて、追加切除が必要か否かの判定を行います。

病理解剖は死体解剖保存法に基づいて行い、診断や治療が適切に行われたか検証して、医療監査としての役割を担います。

●最近のトピックス

「がん」は遺伝子の病気です。遺伝子とは何でしょうか？ヒトの体は、約37兆個の細胞からできていますが、1個1個の細胞は細胞質と核から出来ています。この核の中には46本の染色体が入っています。23本は父親から、23本は母親から受け継いだものです。染色体を構成する重要な部分がDNA（デオキシリボ核酸）で、DNAは4種類の塩基（ATGC、アデニン、チミン、グアニン、シトシン）が一行に並んでできる長い分子



です。この4種類の塩基の配列をゲノムとよび、ヒトでは62億個の塩基の配列からなることが判っています。この62億個の塩基配列のうち、タンパク質の設計図となる部分を遺伝子とよび、ヒトのゲノムには2から3万種類の遺伝子が含まれているといわれています。この2から3万種類の遺伝子をもとにつくられたタンパク質のはたらきによって、ヒトの体がつくられます。

「がん」はこの遺伝子に異常がおこるため、異常なタンパク質がつくられて、異常な細胞（「がん」細胞）になります。遺伝子の異常を引き起こす原因となるのは、喫煙、放射線被曝、生活習慣、加齢などです。「がん」ゲノムでは、がんの組織を用いてがん細胞の多数の遺伝子を同時に調べる「がん遺伝子パネル検査」によって、遺伝子変異を調べて、がんの性質を明らかにし、遺伝子変異に基づいた治療を行うためのデータとします。

●組織診・細胞診の実績

	組織診断件数	迅速組織診断件数	細胞診件数	迅速細胞診件数
2020年	6,218	341	7,205	312
2021年	6,712	396	7,549	385
2022年	6,344	394	7,255	402
2023年	6,382	398	7,437	362
2024年	6,315	375	7,144	346

患者さん・家族をサポート

すい臓がん 肝臓がん教室

JA Onomichi General Hospital Pancreatic cancer & Liver cancer class 第32クール

**参加無料
申込不要**

開催日 第2・4火曜日 15:00～16:00 ※祝日の場合は9月は第2・4火曜日となっております。

会場 JA尾道総合病院 1階会議室（医療福祉支援センター奥）

対象 すい臓がん・肝臓がん患者とご家族
※ご関心がある方であれば、どなたでもご参加できます。

内容 前半：ミニレクチャー 後半：フリータイム
あいだであらったリラクゼーションタイム（ヨガ）もあります!!
※体調に応じて出入りは自由です。

01 2026 8/25	● すい臓がんについて ● 膵性糖尿病について	すい臓専門医師（外科） 糖尿病看護認定看護師
02 2026 9/8	● 肝臓がんについて	肝臓専門医師（内科と外科）
03 2026 9/29	● すい臓がん治療のおくすりについて ● 遺伝子・ゲノム医療について	薬剤師 遺伝カウンセラー
04 2026 10/13	● がんとわかった時から始まる緩和ケア ● “痛み止めの薬”のやさしい知識	緩和ケア認定看護師 薬剤師
05 2026 10/27	● 困った時の食事のヒント ● 口腔ケアについて	管理栄養士 歯科口腔外科医師
06 2026 11/10	● こころとからだ ● 治療・生活に役立つ情報の集め方	公認心理師・臨床心理士 社会福祉士

お問合せ先 **JA尾道総合病院** TEL. 0848-22-8111（代表） 受付 9:00-17:00
医療福祉支援センター（がん相談支援センター） ※土曜日は閉館

病院 理念

- 私たちは生命の尊さと人間愛を基調に、力を合わせて病める人々を守ります。
- 私たちは、地域の基幹病院としての自覚を持ち、常に新しくより高い知識の習得と技術の研鑽に励みます。

基本 方針

農業協同組合員によって創設されたJA尾道総合病院は、公的病院として保健・医療・福祉・介護活動を通じて、地域に貢献します。

ACCESS

車

尾道バイパス・平原インターから約3分

バス

- 尾道駅（山陽本線）尾道駅前－JA尾道総合病院下車
（おのみちバス：JA尾道総合病院線・尾道市立大学線・瀬戸田線の3路線）
- 新尾道駅（新幹線）新尾道駅－尾道駅前下車（乗り換え）
（中国バス・おのみちバス）尾道駅前－JA尾道総合病院前

利用者専用シャトルバスのご案内

- 三原方面 JR三原駅西口発（所要時間約30分・途中の停留所7か所）
発車時間 7:40 ▶ 9:05 ▶ 10:25 ▶ 11:35 ▶ 13:25 ▶ 14:28
- ※詳しくは総合案内にてお訪ねいただくか、病院ホームページをご覧ください。

駐車場の案内

駐車料金 ▶ 30分無料、その後1時間ごとに100円
診察を受けられた方は無料となります。



病院敷地内は全面禁煙となっています。